

信楽鉄道事故の惨事に学べ 北近畿タンゴ鉄道の安全体制 を万全に



北近畿タンゴ鉄道で駅員から事情を聞く
岩田府議、三木府議、西山参院予定候補、稲次福知山市議

五月一四日、五〇〇名近い多数の死傷者を出した、第三セクター信楽鉄道線における列車正面衝突事故は、同じ第三セクターの北近畿タンゴ鉄道（KTR）を運行する本府にも、他人事ですまされな
い問題を投げかけており、列車運行の安全対策に対し、府民の間で大きな不安と関心を引き起こして
います。
府会議員団はこのため、①「質問書」を提出②KTRとの懇談・調査③知事への申し入れ——など
を通じて、安全対策の万全を求めました。

安全対策を知事に申し入れ

（六月七日）

申し入れでは、とくに①北近畿タンゴ鉄道の
職員の教育・訓練にあたっては、JRの訓練施
設を活用すること②列車無線システムの全区間
への導入を急ぐとともに、防災行政無線による
ネットワーク形成について早急に着手すること
③車両の整備・点検、保線などの外部業者の委
託について、チェック機能を強化することなど
を強調しています。また、職員の労働条件の改
善、事故・災害時の国の財政面の援助制度と保
健制度の改善についても言及しています。

北近畿タンゴ鉄道

日本共産党が調査

（五月二十七日）

調査には、神谷信之助参院議員、西
山とき子参院選挙区予定候補、こくた
恵一衆院一区予定候補、寺前衆院議員
（代理）をはじめ、岩田隆夫、三木一
弘両府議、宮津市など関係市町の議員
が参加しました。

一行は、宮津市の「北近畿タンゴ鉄
道事業本部」を訪れ、安全運行のため
の体制、JR西日本との協力体制、職
員の高齢化対策、国に対する要望など
を質問しました。